

ニュースを教育・研究の視点から発信する OTEMON VIEW

# 「被災地の日常」と「旅の非日常」が交差する被災地。災害復興を支える観光のあり方とは

## 追手門学院が OTEMON VIEW を開設

学校法人追手門学院(大阪府中央区、理事長：田口順一)は大学公式 HP に特設サイト「OTEMON VIEW」を開設しています。

<https://newsmedia.otemon.ac.jp/>

## OTEMON VIEW とは

「ニュースの面白さは、見方次第。」をコンセプトに、日々移り変わる世の中の出来事を、追手門学院大学の教員らが教育・研究成果など専門的知見に基づいて読み解きます。

### 人気の記事 よく読まれている記事！

1 2021.09.02 地域・観光  
死海文書とは何か。日本語訳プロジェクトに携わる研究者が明かす、その全貌  
132402Views  
OTEMON VIEW編集部

2 2022.10.07 社会とくらし  
男女平等ランキングはなぜ低い？日本のジェンダーギャップ解消に求められる家族観・政策の視点  
94999Views  
OTEMON VIEW編集部

3 2022.07.06 ころとからだ  
「なつかしさ」はビタースイート。記憶心理学者とたどるメカニズムと心理的効果  
57802Views  
OTEMON VIEW編集部

4 2022.12.20 社会とくらし  
元マルサの指揮官が語る「国税専門官」の仕事とキャリアパスのリアル。  
55066Views  
OTEMON VIEW編集部

5 2020.08.24 ころとからだ  
すぐそばにある薬害問題。「薬害根絶デー」を考える薬害被害について  
46829Views  
OTEMON VIEW編集部

## OTEMON VIEW 人気記事ランキング

## ニュースを教育・研究の視点から

世界的に「ダークツーリズム(災害や戦争など死や苦しみと結びついた場所を巡る観光)」への関心が高まる中、日本でも震災の被災地へ、復興支援や学びを目的に訪れる動きが見られます。こうした「被災地を訪れる観光」は災害復興や防災教育に資するものとして期待される一方で、現地との間に摩擦を生むこともあるのだとか。

今回は「災害復興と観光」をテーマに研究する間中 光准教授による解説です。

(以下は主なポイント)

### 被災地の消費？ 復興の阻害？「まなざしの軋轢」が生む違和感

- 観光客の「非日常」と被災者の「日常」が衝突するとき
- 災害遺構をめぐる葛藤とは。

### インドネシアに見る「観光×復興」の好事例

- 「地域産業の下支え」となった火山遺構を巡るツアー
- レジリエンスを駆動するエンジンは「開放性」と「共同性」
- 「不謹慎」を超えて。被災地観光は地域レジリエンス向上の特効薬となり得るか？

- ゼミ生たちが国境を越えて育む市民の視点。
- 観光は「誰」を幸せにするのか？ 地域レジリエンスの土壌づくり

記事本体: <https://newsmedia.otemon.ac.jp/3845/>



記事のイメージ

この資料の配付先：大阪科学・大学記者クラブ、北摂記者クラブ等

【発行元】

追手門学院 広報課 TEL：072-665-9166 織田・所